

25mm

「登録番号」

S I D E - ○ ○ ○ ○ ○

調査報告書 (1)

(1行空け)

「報告書選択番号」

土木鋼構造診断士について「タイトル」

(1行空け)

(1行空け)

1. ページ設定

1.1 ページの設定

全てのページのマージンはこのフォーマットのとおり、上辺 25mm、下辺 30mm、左右 25mm に設定して下さい。

文字数は 40 行 40 文字として下さい。文字の大きさは 10 ポイント として下さい。

1.2 1 ページ目のスタイル

最初のページは、登録番号、報告書選択番号、タイトル、本文の順で始まります。まず、右上に右詰めで「登録番号」、「報告書選択番号」を明朝体、10 ポイントで例のように記入して下さい。

タイトル（報告書題目）は、明朝体、14 ポイント、太字（**Bold**）、センタリングとして下さい。ただし、報告書選択番号として（3）を選択した場合、題目部分は「課題 1」、「課題 2」など、選択した課題番号として下さい。

2. 見出しのつけ方

章、節、項の見出しは以下のように統一します。

章：1., 2., 3., ……

節：1.1, 1.2, 1.3, ……

項：1.1.1, 1.2.1, 1.2.3, ……

項以下の見出しはつけないで下さい。また数字とその後に続く文字は全て太字（**Bold**）とします。

章の見出しと前の文章との間は 1 行空けて下さい。

3. 図表、写真について

3.1 図表、写真のレイアウト

図表は、文章と対応したページに配置します。なるべく、図表はそれぞれのページの上部または下部にまとめてレイアウトして下さい。文章の途中に図表が組み込まれてしまうレイアウトは避けるようにして下さい。

3.2 図表、写真の文字、キャプション

図表中で使用する文字は小さくなりすぎないように注意して下さい。9 ポイント以下になると見づらくなりますので、これより小さくならないようにして下さい。図表のキャプションは例のように、図-○、表-○とし、書体は明朝体、10.5 ポイントとして下さい。

25mm

25mm

30mm

25mm

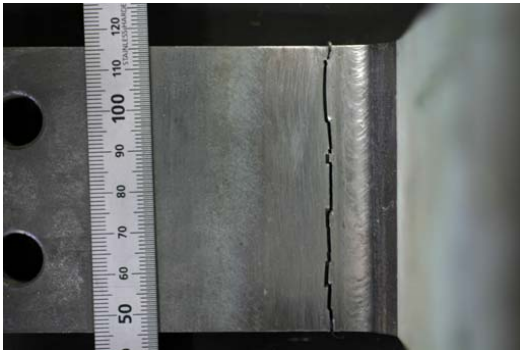


写真-1 写真のキャプションは写真の下に配置する

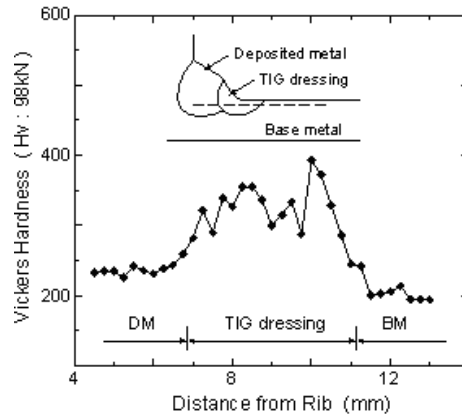


図-1 図のキャプションは図の下に配置する

表-1 表のキャプションは表の上に配置する

鋼種	SS400 SM400 SMA400	SM490	SM490Y SM520 SMA490	SM570 SMA570
強度	360	480	520	570

25mm

4. 数式の表示方法

数式や数学記号は式 (1a) のように、数式はセンタリングし、式番号は括弧書きにして右詰めにしてください。

$$x = -f \frac{a_{11}(X-X_0) + a_{12}(Y-Y_0) + a_{13}(Z-Z_0)}{a_{31}(X-X_0) + a_{32}(Y-Y_0) + a_{33}(Z-Z_0)} - x(k_1 r^2 + k_2 r^4) \quad (1a)$$

5. 参考文献について

参考文献は本文で参照した順番に[]で囲んだ番号を振り、本文内の引用箇所には[1]のように表示します。また、参考文献はすべて原稿の末尾にまとめてリストの形式にして下さい。下の参考文献(例)のように、著者名と参考文献名の間はコロン(:)で区切り、その他はカンマ(,)で区切って記載してください。また、ページ番号の表記は、複数ページにわたる場合は、「pp.」、1ページのみ場合は「p.」を使用して下さい。

参考文献

- [1] 著者名: 参考文献名, No (Vol.), ページ, 刊行年月
- [2] 日本鋼構造協会: 鋼構造論文集, Vol.14 No.53, pp.〇〇~〇〇, 2007.3
- [3] I.Tekkotsu, K.Hagane: Print Format for Japanese Manuscript for Journal of JSSC, JSSC2007, No. 〇 vol.〇, pp. 〇-〇, 2007.3.
- [4] B.Ron, I.Tekkotsu: Journal of Constructional Steel, Vol.13 p.〇〇

25mm

30mm